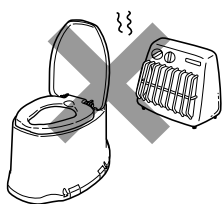
サニタリエースSD〈ソフト便座〉取扱説明書

このたびはサニタリエースSD〈ソフト便座〉をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用前にかならずよくお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、下の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。　**してはいけない「禁止」内容を説明しています。**

⚠警告

製品は絶対に分解、改造しないこと
強度が落ち、破損やけがの原因になります。

使用前には各部を点検し､確実に設置できているか、ぐらつきがないか確認したうえで使用すること

使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること

補高タイプのとき、特に下肢の弱い方（膝関節症やリウマチ等）や片マヒの方が使用するときは、本体が動かず安心して使えるよう、床面に固定すること
転倒やけがの原因になります。

本体、便座がヒビ割れした場合は使用しないこと
破損し､けがの原因となります。

⚠注意

便座の縁に腰をかけると便座が浮くことがあるので注意すること

体重が100kgを超える方は使用しないこと
製品が破損し、けがの原因になります。

落としたり、強い衝撃を与えないこと
破損し、けがの原因になります。

上蓋の上には座らないこと
破損し、転倒やけがの原因になります。

便座を上げて補高スペーサーの上に直接座って使用しないこと
転倒し、けがの原因になります。

上蓋にもたれたりよりかからないこと
破損したり転倒し、けがの原因になります。

上蓋につかまって立ち座りしないこと
上蓋が破損したり､本体が動き､転倒やけがの原因になります。

直射日光に当てたり､ストーブなど火気を近づけないこと
プラスチックが劣化したり、火災や変形の原因になります。

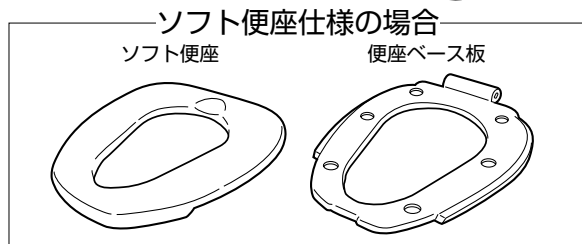
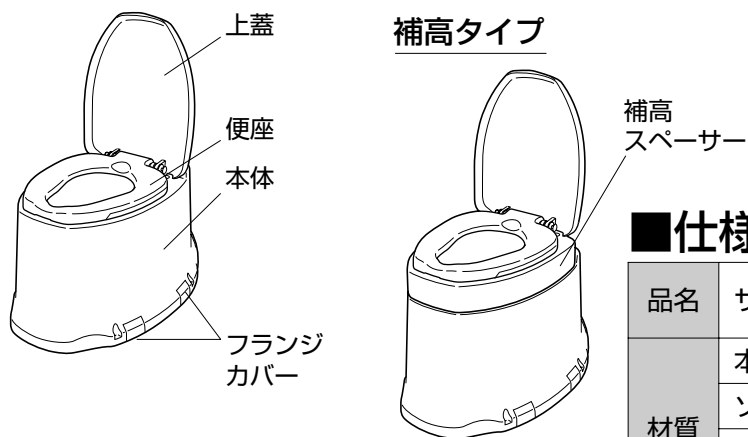
踏み台として使用したり､子供･幼児を遊ばせるなど、他の用途では使用しないこと

上蓋･便座を開閉時に手で無理やりおさえたり､押し上げたり､乱暴に扱わないこと
ダンパーが破損したり、正しく作動しなくなります。

各部のなまえ

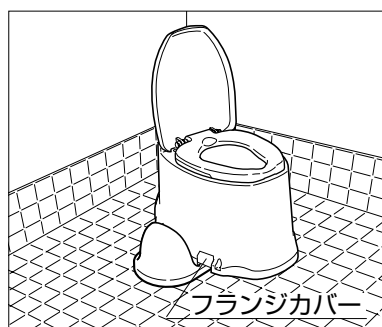
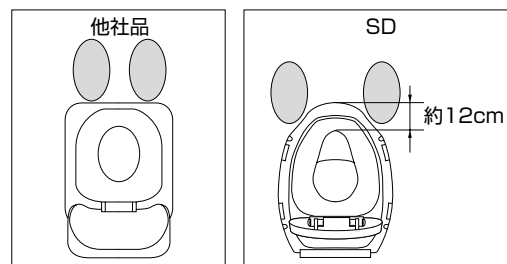
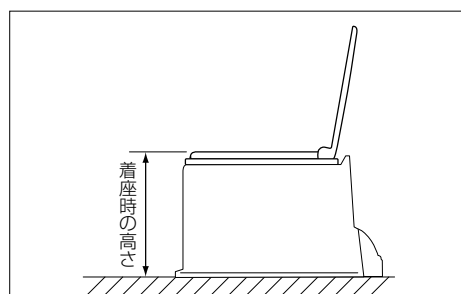
ソフト便座仕様の場合

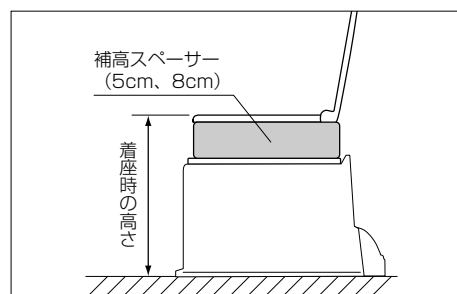
ソフト便座　便座ベース板

■仕様

品名	サニタリエースSD〈ソフト便座〉据置式	
材質	本体・上蓋・便座ベース板	ポリプロピレン
	ソフト便座	発泡ポリエチレン
	脚ゴム	スチレン系エラストマー
	※補高タイプの場合	補高スペーサー：ポリエチレン
寸法	幅44.5×奥行61.5×高さ40㎝（便座までの高さ39㎝） ※補高タイプの高さは、それぞれ＋5cm、＋8cm	
重量	約3.5㎏	（補高＃5）約4.5㎏
		（補高＃8）約4.7㎏

特　　長

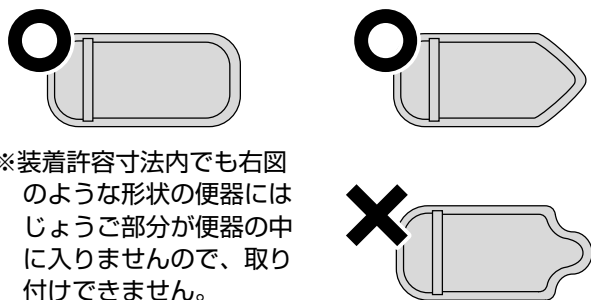
●上蓋・便座にはオイルダンパーを採用。静かに上蓋・便座が閉まるので、うっかり手を離してもバタンと音がしません。
●便座をおおう、かぶせ蓋で、気になるニオイがもれにくくなっています。
●ソフト便座には、着座時の痛みや冷たさを緩和するやわらかい素材を使用しています。（抗菌加工）
●ソフト便座が汚れたときは、簡単に取り外して洗えます。
●便座後方部には尾てい骨が当たらないようくぼみを設け、前方部は大腿部の当たる面積を増やし、身体の圧力が均等にかかるので、長時間座っていても負担の少ない形状です。

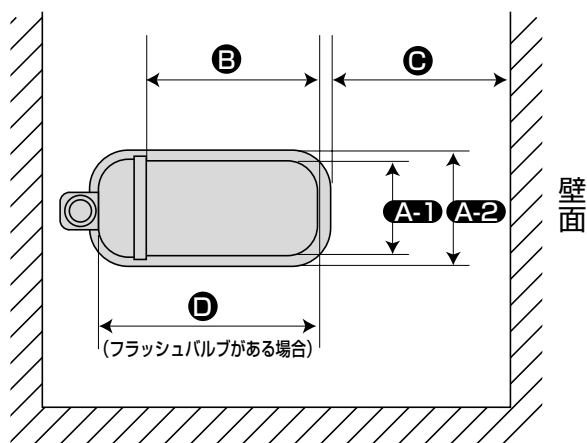
●トイレの状況に合わせて、フランジカバーを上にスライドするだけで本体を90゜方向換えして設置することができます。

●立ち上がりやすい足引きスペースを設けています。

〈補高タイプの場合〉
●膝関節症やリウマチの方などが使われる場合は、補高スペーサーを取り付けて便座高を高くすると、立ち座りが楽になります。

取りつけかた

注意

使用する際、動作は身体の安定を確認しながら、ゆっくり行うこと

●段差のない和式トイレでお使いください。

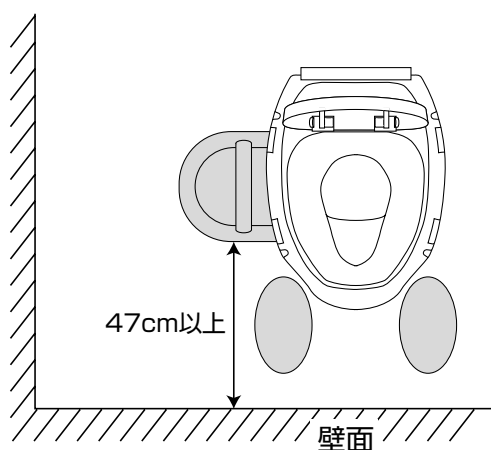
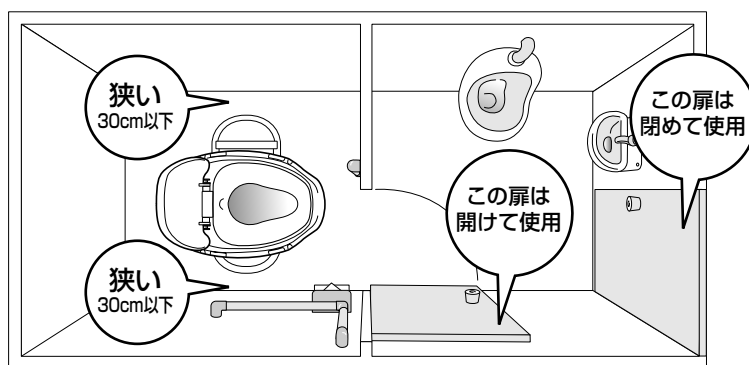
便器の形状と装着許容寸法を確認してください。

取り付け可能な便器の形状

※装着許容寸法内でも右図のような形状の便器にはじょうご部分が便器の中に入りませんので、取り付けできません。

装着許容寸法

A-1	A-2	B	C	D
18.5cm以上	28.5cm以下※	19cm以上	30cm以上	40cm以上

※90゜方向換えしない場合のA-2寸法は30ｃｍ以下。

ご注意

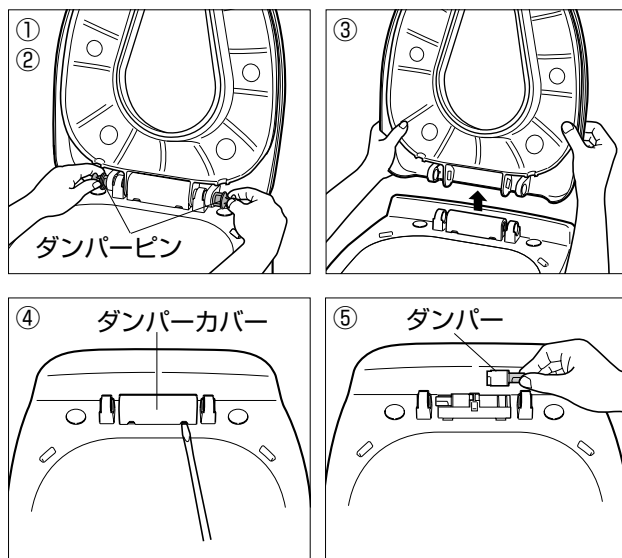
〈90゜方向換えする場合〉

設置例

足の置くスペースを含めて、47cm以上必要となりますので、ドアを開けるなどして距離を確保してください。

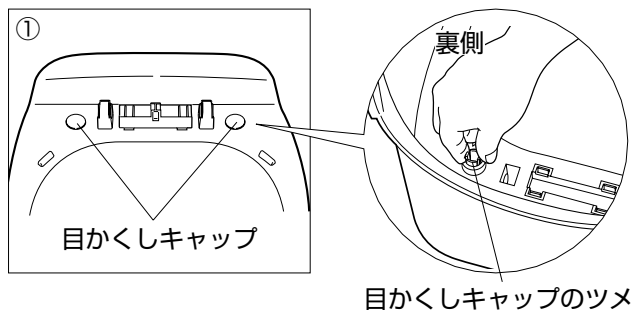
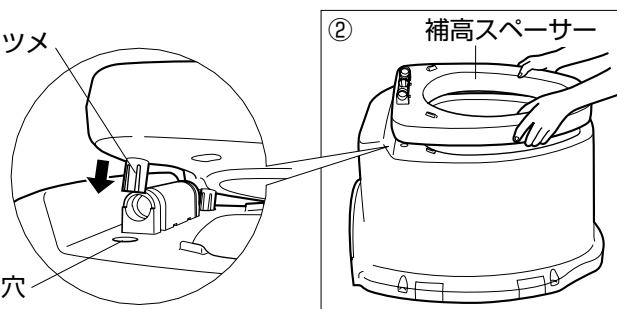
取りつけかた

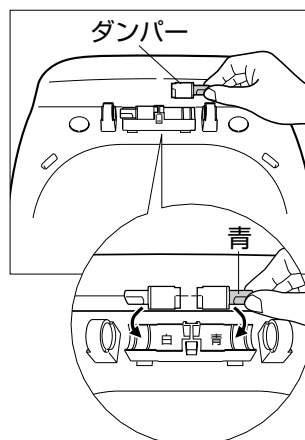
〈補高タイプの場合〉

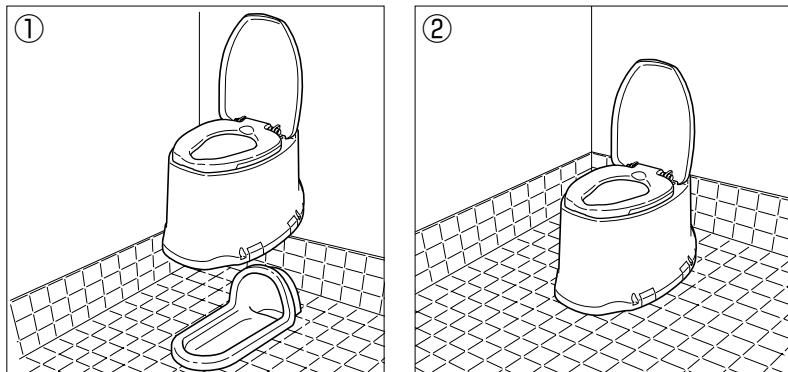
次の手順で補高スペーサーを取り付けてください。

1 上蓋・便座・ダンパーなどを取り外す。

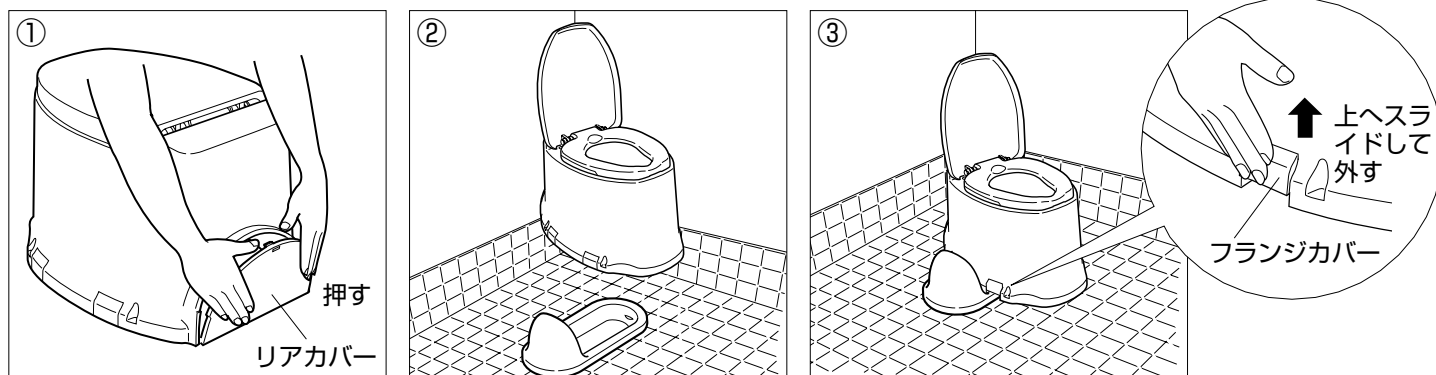
①上蓋と便座をあげる。
②ダンパーピン（左右を）引き抜く。
③上蓋と便座を取り外す。
④ダンパーカバーの穴にドライバーなどを差し込んで、ダンパーカバーを外す。
⑤ダンパーを取り外す。

2 目かくしキャップを取り外し、補高スペーサーを取り付ける。

①裏側から目かくしキャップのツメをつまんで押し込み、目かくしキャップを外す。
②補高スペーサーの取り付けツメを取り付け穴に差し込んで、補高スペーサーを取り付ける。

3 補高スペーサーに、上蓋・便座・ダンパーなどを取り付ける。

1の⑤から逆の手順で行ってください。
※その時、ダンパーは、軸の色と刻印（青・白）をあわせてセットしてください。

取りつけかた

●和式便器にかぶせて置きます。

※脚ゴムが4か所ともついているか確認してください。
外れたまま設置すると、使用中に傾き、転倒やけがの原因になります。

〈90°方向換えする場合〉

①リアカバーを取りつけてから、②和式便器に対して90°にかぶせて置きます。
③きんかくし側のフランジカバーが1.5cm以上あがった場合は、取れやすくなりますので外してください。

●本体が動かないように、床面にネジで固定できます。

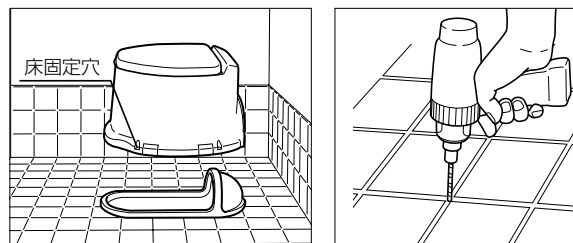
⚠注意　補高タイプのとき、特に下肢の弱い方（膝関節症やリウマチ等）や片マヒの方が使用するときは、本体が動かず安心して使えるよう、床面に固定すること

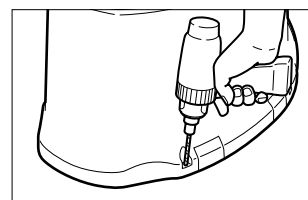
1 固定に使うネジ4本を準備します。

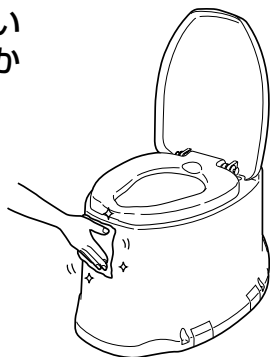
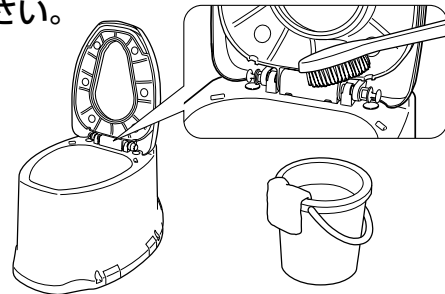
床が木の場合	→	M6（首下長さ50mmまで）の木ネジを準備してください。
床がコンクリートあるいはタイル貼りの場合	→	M6（首下長さ50mmまで）のコンクリート用ネジ（アンカーボルトやプラグなど）を準備してください。

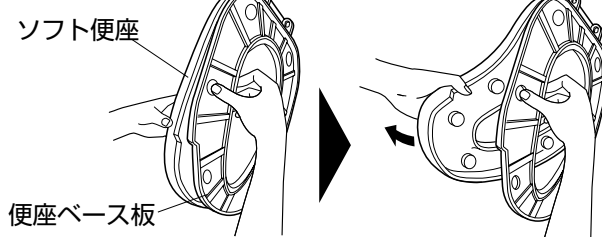
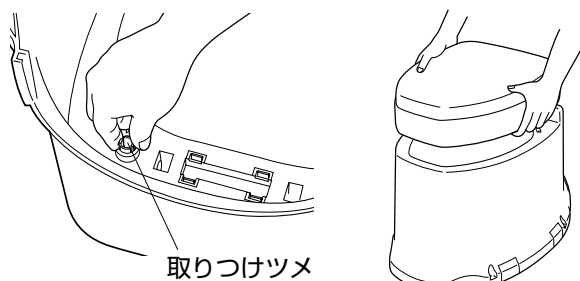
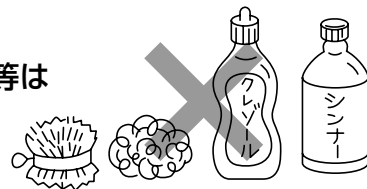
2 本体を仮置きし、固定穴の位置を決めます。

①本体下部の開口部にある方を、和式便器のふくらみ（キンカクシ）にかぶせ、安定する位置に仮置きします。

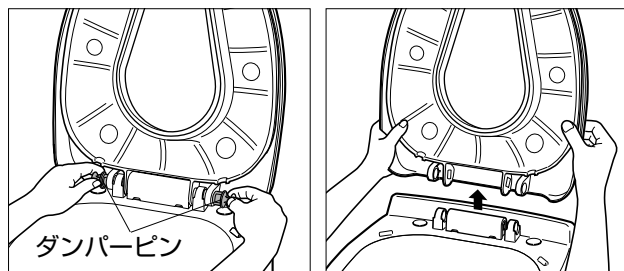
②床固定穴の中心部に合わせて床に印をつけます。（4か所）
※床がタイル貼りの場合、タイルが破損するおそれがあります。
必ずタイルとタイルの間の目地の部分に穴を開けるようにしてください。

3 下穴を開け、ネジで固定します。

・下穴の深さは50mmまでにしてください。
・下穴の大きさ、およびネジの固定方法は、準備したネジに合わせて行ってください。
※下穴が防水層に到達した場合は、コーキング材で防水してからネジ締めしてください。
※強く締めすぎると、本体を破損することがあります。

お手入れの方法

1 汚れはスポンジかやわらかい布に中性洗剤をふくませてからふきとってください。

2 上蓋・便座の軸部分は毛足のやわらかいブラシで洗ってください。

3 便座はソフト便座と便座ベース板に取り外せます。裏面の凸部を押して取り外してください。

⚠ 注意	**ソフト便座と便座ベース板に取り外す際、無理に引っぱらないこと** 強く引っぱると、ソフト便座が破損します。

4 [補高タイプの場合]
補高スペーサーは取り外せます。
裏側から補高スペーサーの取り付けツメをつまんで押し込み、補高スペーサーを浮かせて外してください。

⚠ 注意	**●タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと** **●塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール、殺虫剤等は絶対に使用しないこと** プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

●汚れやにおいがひどく、やむを得ず上蓋・便座を取り外して掃除する場合は、次の手順で取り外してください。

① 上蓋と便座をあげる。
② ダンパーピン（左右）を引き抜く。
③ 上蓋と便座を取り外す。

※取り付ける場合は、③から逆の手順で行ってください。

●ダンパーカバーを外すことはおすすめしませんが、ダンパーの交換などの場合は、次の手順で取り外してください。

① ダンパーカバーの穴にドライバーなどを差し込んで、ダンパーカバーを外す。
② ダンパーを取り外す。

※取り付ける場合は、②から逆の手順で行ってください。その時、ダンパーの軸の色と刻印（青・白）をあわせてセットしてください。